

1 初期改善とは

POINT

- ①初期改善の重要性を認識する。
- ②初期改善の内容を確認する。
- ③初期改善の目的を理解する。

■初期改善の重要性

5Sを実際に導入していくうえで、まず取り組むのが「初期改善」(一斉清掃)です。

前章でも述べたとおり、初期改善はトップが全社的取り組みを宣言することから始まります。初期改善は、トップも含めて従業員全員参加で実施します。前章で学んだ方法で、事前に現状の問題点を洗い出し、把握し、その問題点を整理して、見直すべき点をしっかりと認識したうえで、いよいよ初期改善に向けた準備に取りかかりましょう。第2章では、準備に必要なツール、作業、心がまえについて解説します。

■初期改善の内容

初期改善にも、システム管理の要素をもたせることが必要です。単純に掃除や片付けをして終わりにするのではなく、何の改善にもなりません。

初期改善は、どこからどこまでを対象として(計画)、誰がどこにどんなことをするのか(実行)、その結果はどうなったのか、やり残しがあるのかをチェックして(確認)、次に何をどのようにすればよいか(見直し)を考えるわけです。つまり、P D C Aに沿って、意義と方法をしっかりと理解し、実践することが、初期改善の内容と言えるでしょう。

初期改善は、今後定着させる5S管理のシステムづくりのための下地として、たいへん重要な役割を担っています。

5Sを実現する方法図野音

■初期改善の目的

食品事故防止のための5Sは、5Sを徹底し、システムとして管理に組み込むことで、「異物混入や微生物汚染などの食品事故の原因を除去し、現場管理の適正化を推進すること」をめざしています。ですから、その端緒となる初期改善も、当然その目的に沿ったものでなければなりません。たんに現場がきれいになって清潔になればいいというだけではないのです。

よく間違えやすい点ですが、5Sの実践を押し付けることが目的ではありません。あくまでも5Sをシステムとして機能させ、食品事故を防止することなのです。反対に言えば、管理ができていない原因や要因を、速やかに排除する仕組みをつくることがあります。

その初期改善として挙げられることに、次のようなものがあります。

- ①不要物排除も含めた大掃除の実施(一斉清掃)
- ②清掃・洗浄を専門業者へ委託
- ③施設・設備の改善

では、初期改善の具体的な目的を考えてみましょう。

初期改善の目的は2つあると考えられます。一つは、クレームの分析、現場の調査(サンプリング、ヒアリング)結果から、浮かび上がった多くの問題点を開拓する目的です。まず目先の問題を解決するのです。そして、なぜできていなかったのか、問題が解決されていなかったのかを確認し、根本的な解決に向かうのです。

もう一つは、先にも述べましたが、5Sをシステムとして機能させるためのトレーニングという意味があります。初期改善を、最終的な「5S管理」を定着させるための体験、訓練とするわけです。

なお、本書では①の一斉清掃を中心に解説いたします。

2 管理図面を作成すること

POINT

- ①管理図面作成の目的を理解する。
- ②管理図面の要件を認識する。
- ③管理図面の用途を学習する。

■管理図面とは

一斉清掃で必要となる管理図面とは、製造現場の見取り図（工場平面図）のことです。5S管理で異物混入防止対策を組織的に進めていく場合の基本ツールとなるのが、製造現場の見取り図なのです。この管理図面（見取り図）を効果的に使用していくためには、以下の点について、正しく現状を把握できるものでなくてはなりません。

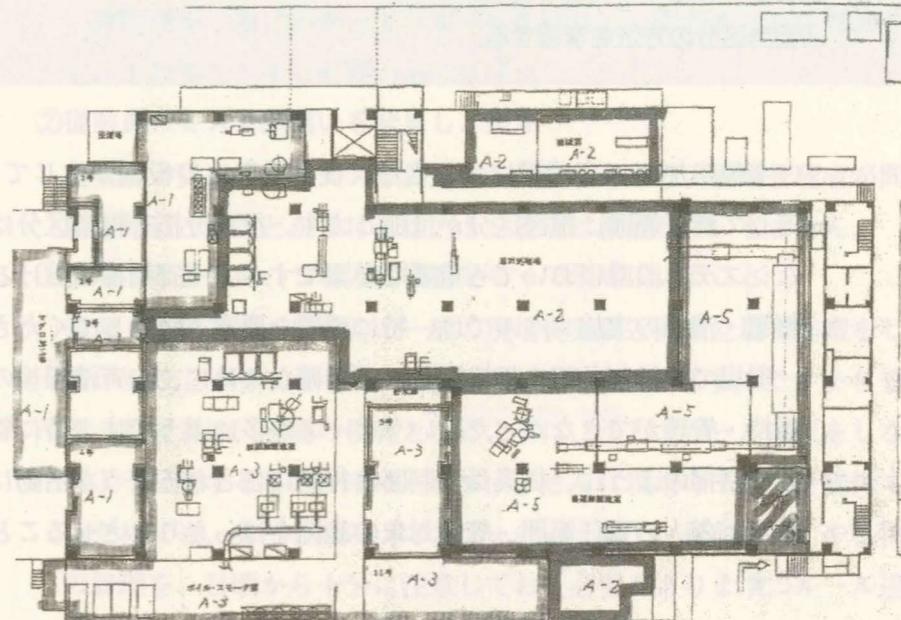
- ・間取りや縮尺などが正確であること
- ・出入口や開口部（窓など）が正確に記入されていること
- ・製造現場の現在の状況を正確に写したものであること

これらの条件を具備した図面を基礎図面として作成しておき、必要に応じてコピーし、それぞれの用途に適した管理図面を作成します。製造機械やラインについては、簡略化して載せておけばよいでしょう。

■管理図面の用途

図面は、5S導入のための一斉清掃に使用するだけではありません。いろいろな用途に使って専用図面とすれば、その効力を發揮します。例えば、防虫・防鼠管理専用図面とか、従業員と製品の動線管理専用図面、空気の流れ・吸排気専用図面など、改善計画や実態把握に使うだけではなく、その結果を他の人に説明する時に大変役に立ちます。

図表2-1 見取り図の例（管理区分図）



図表2-2 専用図面の例（配電盤等配置図）

